

よろしくお願いいたします



国土交通省  
遠賀川河川事務所

所長 光橋 尚司 さん

4月より遠賀川河川事務所長を務めております光橋です。流域の皆様が、遠賀川を愛し、日頃から様々な活動をされていることに敬意を表します。

さて、遠賀川は太古から流れ続けていますが、私たちが目にする遠賀川は、昔と全く同じではありません。気候変動に伴う海水面の昇降や土砂の運搬・堆積、洪水といった自然の力と、この地域での農業や鉱工業、人々の生活や健康を守るために設けられた堤防や堰、ダム、上下水道などのいわゆる人間の力があわさった結果、いまの遠賀川になりました。

未来の遠賀川は、いまの遠賀川に私たちがどのように働きかけるかで決まります。私たちの子孫や遠賀川を住みかとする生物たちに、どんな遠賀川を受け渡すのかをぜひ思い描いていただき、よりよい遠賀川の実現に向けて一歩ずつ前進していきましょう。これからもよろしくお願いいたします。

第33号  
平成26年 1月

## 香月・黒川ほたる館オープン、国際ほたるシンポジウム開催



平成25年10月25日（金）、北九州市立『香月・黒川ほたる館』がオープンし、北橋北九州市長や多くの来賓ご出席のもとで開館式が行われました。当館のそばを流れる黒川では、「香月・黒川ほたるを守る会」をはじめ地域の方々が蛍の再生活動に長年取り組んでおられ、蛍の再生活動や水環境教育の拠点として当館に大きな期待が寄せられています。



平成25年11月23日（土）には、第12回国際ほたるシンポジウムが当館で開催され、蛍の研究や保存活動に関する発表や意見交換が行われました。

シンポジウムでは、まず大場蛍研究所長で理学博士の大場信義氏から「ホタルをとりまく身近な自然は地域の宝」をテーマに基調講演がありました。続く事例発表では、韓国ホタル研究会の鄭副会長から城南市の蛍保存活動、北九州市立木屋瀬小学校4年生20人から蛍を通じた日韓交流事業、香月・黒川ほたるを守る会の岩本会長から蛍を通じた香月・黒川地区の地域活動がそれぞれ報告されました。最後に、コーディネーターである北九州ほたるの会の永尾副会長のもとで、発表者と参加者が意見を活発に交換しました。

『香月・黒川ほたる館』にはホタル展示室（パネルコーナーや、ホタル生態水槽、ホタル模型など）があり、ホタルについてたくさん知ることができます。開館時間は9時から17時まで（休館日毎週水曜日・年末）。〒807-1103 北九州市八幡西区香月西4丁目6-1 TEL093-618-2727



香月・黒川ほたる館(今年10月に開館)

# “みんなで植える、みんなで咲かせる”がテーマです

平成25年11月7日から12月7日にかけて、平成26年4月に開催される『のおがたチューリップフェア2014』の会場となる直方市リバーサイドパークで、133,000球ものチューリップの球根が53団体、1,500人のボランティアの手で植えられました。

参加した方によると、表土が硬く球根を植えるのは思ったより大変で、スコップと軍手を使っても手のひらにマメができ、マメがつぶれた人がいたそうです。

平成26年4月のフェアでは前回よりも21種類多い58種類のチューリップが見られるそうです。

来年はどんなふう咲くのか  
...春が待ち遠しいですね。



『のおがたチューリップフェア2013』の状況



来年のフェアの注目スポットとなる花壇の球根植えをされた『直活会』(直方市)の皆さん。

## 3年ぶりに鮭が帰ってきました

捕獲日時: H25.11.20  
捕獲場所: 岡垣町波津漁港周辺  
全長 約 67cm  
重量 約 2.4kg  
性別 メス



捕獲日時: H25.11.29  
捕獲場所: 遠賀町木守の用水路  
全長 約 66cm  
重量 約 2.5kg  
性別 メス



平成25年11月20日(水)、岡垣町の波津漁港周辺に設置された刺し網に鮭がかかったとの連絡を遠賀漁業協同組合波津支所からいただきました。見つかった鮭は、雌で全長約67cm、重量約2.4kg。この鮭は、遠賀川を遡上する前に河口付近の海で体を慣らしていたのではないかと考えられています。

平成25年11月29日(金)には、遠賀町内の用水路で鮭を捕獲したとの連絡を遠賀町役場からいただきました。遠賀町役場によると、2~3日前から遠賀町木守の幅約1.5mの用水路で鮭が泳いでいたのを地元の方が発見し、連絡を受けた町役場のスタッフが網でつかまえたそうです。鮭は雌で全長約66cm、重量約2.5kgでした。この用水路は、遠賀川支川の西川に流れ込む吉原川につながっており、鮭は産卵のために川を遡上しようとして水路に迷い込んだものとみられます。

遠賀川河川事務所では、遠賀川流域及びその周辺での鮭の発見は、平成22年12月1日に直方市内遠賀川水辺館前の遠賀川で発見されて以来、3年ぶりとなります。

遠賀川流域では、「遠賀川源流サケの会」や「遠賀町青少年育成町民会議」がふ化、育成した鮭の稚魚が、地域の皆様の協力で毎年放流されています。

鮭が遠賀川に帰ってきたことは、明るい話題として多くの放送局や新聞で紹介されました。遠賀川河川事務所では、今後も鮭が遠賀川流域に遡上してくる喜びを流域の皆様と共有したいと考えております。遠賀川流域で鮭を発見されたら遠賀川河川事務所まで情報提供をお願いいたします。

鮭の稚魚は、海水温の低い日本海から北海道、アラスカへと進み、大きくなるまでの約3~5年間はアラスカ沖の海で暮らします。大きくなって産卵年齢になると、鮭は自分の産まれた川を「地球上で一番素晴らしい場所」と信じて帰って来るそうです。



写真提供: 遠賀町

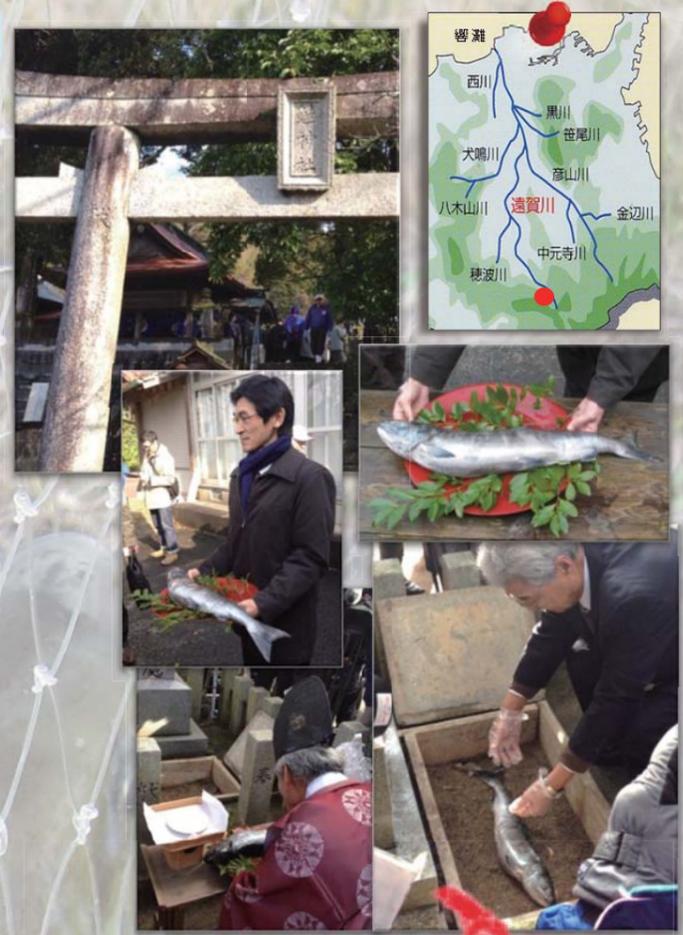


## 鮭神社で献鮭祭が行われました

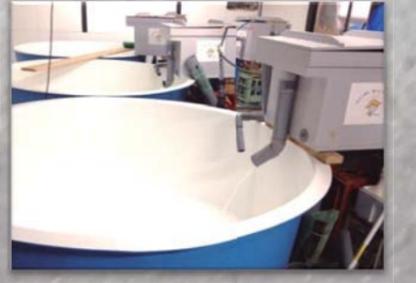
平成25年12月13日(金)、嘉麻市大隈の鮭神社で、鮭を奉納して五穀豊穡を祈る献鮭祭が行われました。当日は朝方小雨模様でしたが、献鮭祭が始まる頃には晴れ間が出るほどよい天気になりました。氏子の方々や遠くは北海道からの漁業関係者など約200人が参列し、11月20日に岡垣町の波津漁港周辺で見つかった鮭をはじめ、多くの鮭が鮭塚に納められました。

鮭神社は約1200年前にはじまったとされ、遠賀川に鮭が遡上した年は豊作になるとの言い伝えがあるそうです。昨年と一昨年は鮭が確認されなかったため、鮭に模した大根が納められました。来年以降も鮭が遠賀川に戻ってこられるよう、流域のみんなで遠賀川を大切にしていきたいですね。

献鮭祭の後、鮭神社に近い「遠賀川源流サケの会」のふ化場で、鮭の受精卵をふ化器に入れる様子が公開されました。この日から2週間ほどでふ化する稚魚は、平成26年3月初旬から放流されるそうです。



鮭が遡上しない年は、鮭を模した大根を奉納しています。



12	冬小仕立 水量調整
13	金 献鮭祭、竹登眼卵金入れ
14	土
15	

## 秋の遠賀川ふるさと清掃運動



開催日	団体名	参加人数・収集ゴミの量
10月13日	I LOVE 遠賀川	2500人 2トン
10月13日	I LOVE 遠賀川in嘉穂	60人 15袋
10月13日	山田川 山田川クリーン作戦	263人 590kg
10月14日	笹尾川 笹尾川水辺の楽校運営協議会	70人 10袋
10月17日	彦山川 田川ふるさと川づくり交流会	10人 10袋
10月20日	遠賀川木屋瀬 木屋瀬河川愛護協会	70人 軽トラ1台分
10月22日	穂波川 飯塚市立楽市小学校・飯塚市立穂波東中学校	60人 15袋
11月16日	金辺川 金辺川を楽しむ会	15人 軽トラ1台分
10月27日	曲川 曲川を守る会	140人 32袋 自転車2台
10月12日	彦山川 ひこさんがわ夢の会	60人 軽トラ1台分

## ○第19回I LOVE 遠賀川流域住民交流会 & 第1回広域連携

### フォーラムin水巻 が開催されました

平成26年11月24日（日）、水巻町中央公民館で「第19回I LOVE 遠賀川流域住民交流会 & 第1回広域連携フォーラムin水巻」が開催されました。

「I LOVE 遠賀川流域住民交流会」は、遠賀川流域の各地で行われている河川の清掃活動や森林の保全活動に取り組む団体や住民の方々が一堂に会し、情報交換や交流を深めることで活動の輪を一層広めることを目的としています。今回は、福岡県と遠賀川流域の20の市町村で構成された広域連携推進会議のフォーラムと合同で行われました。



表彰式の様子

はじめに遠賀川景観写真コンテスト及びスケッチコンクールの表彰式が行われ、続いて福岡県文化財保護指導委員の牛嶋英俊氏による「官兵衛（黒田藩）と遠賀川の関わりについて」と題した基調講演と

代表団体からの活動報告が行われました。この交流会をきっかけに、行政（国、県、市町村）、団体、住民が一体となって遠賀川流域の活性化が進むことを願っています。



基調講演

## ○遠賀川河川事務所からのお知らせ

### ー『第4回I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット』を開催しますー

「I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット」（サミット）は、生命の川である遠賀川の水環境の改善をめざして2008年から2年おきに開催しています。

2012年1月22日に飯塚市で開催された前回のサミットでは、流域の22市町村長と福岡県知事、遠賀川河川事務所長のもとで、母なる遠賀川をより美しく誇りの持てる川として次世代に引き継ぐとした「遠賀川流域宣言」が発表されました。この宣言をふまえて、遠賀川流域の住民の皆様と行政が連携して様々な活動をしており、遠賀川の水環境が一步ずつ改善されています。

今回のサミットでは、水環境が改善しつつある遠賀川での人（特に子どもたち）と川の関わり、川を軸としたまちづくりとそのための仕組みづくりを考えます。

開催日時：平成26年1月26日（日）13時00分開場 13時30分開会

開催場所：田川青少年文化ホール

〒826-0032 福岡県田川市平松町3番36号 TEL 0947-44-6470

入場無料

主催 国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所、NPO法人遠賀川流域住民の会  
後援 福岡県、遠賀川流域22市町村、遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会、  
遠賀川水系水道事業者連絡協議会

問合せ先 国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所 河川環境課 TEL0949-22-1830

## 遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>